

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		かかりつけ医の普及促進		20年度予算コード	007	整理番号	382	枝番号			
担当部課名	杉並保健所 地域保健課	コード	150305	昨年度 整理番号	446						
係名	救急医療係	連絡先 電話番号	内線4528								
上位施策名		No	39	地域医療体制の整備							
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	9年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(4)	施策番号	事業コード	3	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	すべての区民								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	かかりつけ医の紹介・相談事業を杉並区医師会に委託して実施			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) かかりつけ医を持つことにより、身近な地域で安心して、個々人の特質に応じた医療を受けられることを目指す。						
	活動指標名(式)	(1) かかりつけ医の紹介・相談延べ件数 (2)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) かかりつけ医を持つ区民の割合 (2)						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%			
	活動指標(1)	件	80	100	57	100	100	57.0			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	64	65	64	65	70	91.4			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	914	1,032	866	1,030	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円	808	809	808	809					
	職員数 (常勤   非常勤)	人	0.11		0.11		0.31		0.31		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	997	1,005	2,833	2,833				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	1,911	2,037	3,699	3,863					
	単位あたりコスト( - )÷	円	23,888	20,370	64,895	38,630					
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	1,911	2,037	3,699	3,863					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	かかりつけ医機能推進事業の委託「(委託等)」		1	件	808						
	普及啓発用ポスター等作成		8,000	枚	58						
	その他 ( )				0						

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 382 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	57.0	活動指標(2)の 19年度達成率%		19年度予算 執行率%	83.9
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		住み慣れた地域で安心して暮らすため、日常の健康管理サポート役としての「かかりつけ医」をポスター等によりPRした。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	日常の健康管理に加え、介護保険の要介護認定、障害者自立支援法の障害程度区分認定に「かかりつけ医」の意見書が必要されるなど、その必要性はますます高まっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特になし。					
	今後の予測	生活習慣病予防、メタボリックシンドローム対策、さらには、医療制度改革による在宅療養への移行等を踏まえ、住み慣れた地域で安心して暮らすための「かかりつけ医」の存在は、ますます重要性を増してきている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由 )	理由: 地域医療体制を整備していくうえで、多くの区民が「かかりつけ医」を持つことは、24時間安心安全の観点からも重要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容: 「かかりつけ医」は病気のときだけでなく、日頃の健康相談にも応じるという点を強くPRすることにより、成果を上げることができる。 理由または具体的内容: 上記内容を、ポスター、パンフレット、チラシ等に盛り込んでPRしていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 事業の性格上ない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 医師会との協議により委託内容を定めているため、事業内容を縮小しない限り、コストを下げる余地はない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 医師会委託事業により、きめ細やかな「かかりつけ医」の相談・紹介が行われており、「かかりつけ医」を持つ区民の割合も64%を維持している。今後とも、ポスター、パンフレット、チラシ等の広報媒体により、「かかりつけ医」そのものの役割を積極的にPRしていく。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 生活習慣病予防、メタボリックシンドローム対策、さらには、医療制度改革による在宅療養への移行等を踏まえ、住み慣れた地域で安心して暮らすための「かかりつけ医」の存在は、ますます重要性を増してくる。こうしたことから、引き続き、日常の健康管理サポート役としての「かかりつけ医」の重要性を積極的にPRしていく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 医師会を中心として、関係医療機関との連携を強化していく。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 ポスター、パンフレット、チラシ等の広報媒体により、「かかりつけ医」そのものの役割を積極的にPRしていく。		

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		救命救急体制の充実			20年度予算コード	008	整理番号	383	枝番号		
担当部課名	杉並保健所 地域保健課		コード	150305	昨年度 整理番号	450/452					
係名	救急医療係		連絡先 電話番号	3391-1355							
上位施策名		No	39	地域医療体制の整備							
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	16 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(4)	施策番号	事業コード	1
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			根拠法令等						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	急病時の医療機関案内・相談窓口(「急病医療情報センター」)を業者委託により運営/ 救急協力員(区民レスキュー)の養成、救命講習の実施、AEDの維持管理/ 医療に関する相談・苦情対応窓口(「医療安全相談窓口」)を運営				(1) 杉並区急病医療情報センター運営要綱 (2) 地域における初期救急対応力整備要綱 (3) 杉並区医療安全相談窓口実施要綱					
	活動指標名(式)	(1) 急病医療情報センターの利用者数 (2) 医療安全相談窓口の相談件数				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 24時間365日医療機関案内・医療相談が可能な体制を整え、また、いざという時に正確・迅速に応急処置ができる救急協力員を増やすことにより、緊急時においても安心して暮らせるまちを目指す。/ 医療に関する相談・苦情等に応じ、医療機関へ情報提供することにより、医療の質の向上を目指す。					
成果指標名(式)		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標				(1) 救急医療体制に不安を感じない区民の割合 (2) 医療安全相談窓口を利用した人の「納得」した割合					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%			
	活動指標(1)	件	27,940	30,000	32,576	30,000	30,000	108.6			
	活動指標(2)	人	-	540	562	720	720	78.1			
	成果指標(1)	%	49	60	50	60	70	71.4			
	成果指標(2)	%	-	90	95	90	90	105.6			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	62,360	52,621	51,847	58,057	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)  平成19年7月に「医療安全相談窓口」を開設した。				
	(内) 投資的経費等	千円	13,347								
	(内) 委託費	千円	47,799	47,800	47,800	48,000					
	職員数(常勤   非常勤)	人	3.86	3.65	1.88	1.88					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	34,972	33,361	17,183	17,183				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	97,332	85,982	69,030	75,240					
	単位あたりコスト( - )÷	円	3,006	2,866	2,119	2,508					
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	97,332	85,982	69,030	75,240					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	急病医療情報センター運営に係る業務委託(「委託等」)		1	件	47,800						
	医療安全相談窓口パート職員人件費		2	人	2,393						
	AED維持管理のための電極パッド購入		59	組	568						
	救命講習用消耗品類の購入				379						
その他 (委員謝礼、郵送料、印刷費等)				707							

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 383 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	108.6	活動指標(2)の 19年度達成率%	104.1	19年度予算 執行率%	98.5
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		前年度に引き続き、急病医療情報センターの音声データ検証を行うことにより、オペレーション技能の向上に努めた。/ すぎなみ地域大学において、新規に救急協力員を193名養成したほか、救命技能フォローアップ研修を毎月実施し、年間270名の参加があった。/ 新規 19年7月「医療安全相談窓口」を開設した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	急病医療情報センターの認知度の深まりにより、16年度開始以来、利用件数は年々増えてきている。/ いざという時の応急手当の知識を身に付けたいという区民が年々増えてきており、すぎなみ地域大学の講座は参加者抽選が行われるほどである。/ 新規 19年7月「医療安全相談窓口」を開設した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	急病医療情報センターのオペレーション技能の向上により、当センターに係る苦情はほとんどない。/ AED増配置を望む区民要望がある、					
	今後の予測	AEDそのものの社会的認知に伴い、いざという時の応急手当の知識を身に付けたいという区民は、今後ますます増えていくものと予想する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:24時間365日の医療機関案内及び緊急時の救命技法の普及は、安心・安全のまちづくりに直結する事業である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容:いざという時の応急手当の知識を身に付けた区民を増やすことにより、地域における初期救急対応力を向上させることができる。 理由または具体的内容:昨年度に引き続き、年間3,000人の区民に救命講習を実施することを目指す。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:すぎなみ地域大学の救急協力員関連講座は既に有料である。その他の救命講習では、ほとんど経費は発生しない。その他、相談窓口関係は、受益者負担になじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:現在のサービス内容を減少させることになるため、コスト削減は難しい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 急病医療情報センターについては、オペレーション技能の向上、音声データの事後検証等により、利用者からのクレームがほとんどゼロに近くなってきている。/ 救命講習については、19年度から地域大学の修了者との協働が実現している。/ 医療安全相談窓口については、事業開始から間もないこと、民間の引き受けてが少ないこと等から、当面直営で運営する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 急病医療情報センターについては、引き続き、オペレーション技能の向上、音声データの事後検証等により、利用者からのクレームゼロを目指していく。/ 救命講習についても、地域大学の修了者との協働を今年度以上に拡大させていく。/ 医療安全相談窓口については、事業開始から間もないこと、民間の引き受けてが少ないこと等から、当面直営で運営する。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 医療安全相談窓口については、パート看護師2名により運営を行ってきたが、今後、安定・継続した人材確保が課題である。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 基本的には、19年度事業内容を継続して実施していく。		

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		急病診療事業の運営		20年度予算コード	009	整理番号	384	枝番号			
担当部課名	杉並保健所 地域保健課	コード	150305	昨年度 整理番号	448/451						
係名	救急医療係	連絡先 電話番号	3391-1355								
上位施策名	No	39	地域医療体制の整備								
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	12 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(4)	施策番号	事業コード	1	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			根拠法令等						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	平日夜間及び休日における、急病診療所(医科・歯科)及び薬局の運営(医師会、歯科医師会、薬剤師会委託)、小児急病診療体制の確保(東京衛生病院、河北総合病院委託)			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 一般に医療機関での受診が困難となる夜間・休日において、急病診療体制を整えることにより、急病時においても安心して暮らせるまちづくりを目指す。						
	活動指標名(式)	(1) 急病診療所(医科・歯科)及び薬局の利用者数 (2) 小児急病診療委託枠内での受診者数			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 救急医療体制に不安を感じない区民の割合 (2)						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%			
	活動指標(1)	人	18,104	16,000	19,122	20,000	20,000	95.6			
	活動指標(2)	人	5,586	6,000	5,888	6,000	6,000	98.1			
	成果指標(1)	%	49	60	50	60	70	71.4			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	199,428	207,904	199,464	211,567	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円	196,933	205,311	196,987	208,994					
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.86	0.64	1.25	1.25					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,792	5,850	11,425	11,425				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	207,220	213,754	210,889	222,992					
	単位あたりコスト( - )÷	円	11,446	13,360	11,029	11,150					
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円	4,410	4,410	4,410	4,410				
特定財源計 +		千円	4,410	4,410	4,410	4,410					
差引: 一般財源 -		千円	202,810	209,344	206,479	218,582					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	休日等夜間急病診療所の運営(「委託等」)		1	件	138,590						
	歯科休日診療所の運営(「委託等」)		1	件	24,321						
	小児急病診療体制の確保(「委託等」)		2	件	21,492						
	調剤薬局の運営(「委託等」)		1	件	12,582						
その他 (一般需用費、通信運搬費、保険料等)				2,479							

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 384 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	119.5	活動指標(2)の 19年度達成率%	98.1	19年度予算 執行率%	95.9
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		休日等夜間急病診療所の診療体制の見直しについて医師会と検討を行い、20年度から、現在診療を行っていない休日昼間帯に小児科・内科診療を行う等診療ニーズに合わせた事業の見直しを行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	休日急病診療所(医科・歯科)の運営と併行して、平成16年度から東京衛生病院、平成18年度から河北総合病院に平日夜間・休日の小児急病診療枠を確保し、曜日・時間を問わず区民が安心して医療を受けられる体制づくりに取り組んできている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特に小児科について、保健所内の休日等夜間急病診療所、東京衛生病院、河北総合病院と、急病時に複数の受診機関が確保されていることに対する区民に期待は大きい。					
	今後の予測	依然として全国的に小児科医の不足・過重勤務が問題化されており、今後、区の小児急病診療体制の全体的な見直しを行う必要が出てくることが予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいのか 貢献度 大(理由 )	理由:急病診療事業は、地域医療体制の整備の根幹をなす事業である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( )	理由または具体的内容:現在の急病診療事業全般のPRをさらに行うことにより、区民ニーズに応じた適切な診療機関を提供できる。					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:急病医療情報センターによる、より迅速・正確な医療機関案内により、利用者の満足度を向上させることができる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:利用者は保険診療の自己負担分を負担している。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容:現状のサービス内容を減少させることになるため、コスト削減は困難である。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 協働の相手方である医師会・歯科医師会・薬剤師会とは、当事業運営に関して、日頃から運営連絡会等意見交換を行える場があり、20年度からの休日等夜間急病診療所の診療科目の見直しのように、必要に応じて運営の見直しを図ることが可能となっている。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 19年度は、休日等夜間急病診療所の診療体制の見直しについて医師会と検討を行い、現在診療を行っていない休日昼間帯に小児科・内科診療を行う等診療ニーズに合わせた事業の見直しを図った。このため、20年度は、見直し後の診療体制のもと安定した事業運営を図ることを目的とする。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 医師会、歯科医師会並びに薬剤師会及び小児急病診療確保病院2病院と十分な調整を図りながら、安定した事業運営を行っていく。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 規模・内容において、現行どおりの事業を継続する。		

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		歯科保健医療センターの運営			20年度予算コード	011	整理番号	386	枝番号		
担当部課名	杉並保健所 地域保健課		コード	150305	昨年度 整理番号	449					
係名	救急医療係		連絡先 電話番号	3391-1355							
上位施策名		No	39	地域医療体制の整備							
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(4)	施策番号	事業コード	2
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	根拠法令等					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	在宅要介護状態や障害などの理由でかかりつけ歯科医を持たない区民。同様に一般の歯科診療所での診療が困難な区民。				(1) 杉並区立歯科保健医療センター条例 (2) 杉並区立歯科保健医療センター条例施行規則 (3) 杉並区立歯科保健医療センター運営要綱					
	活動指標名(式)	(1) 延べ診療件数(年間) (2) 相談件数(年間)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○障害や疾病により一般歯科診療所での治療が困難な区民に安心して歯科診療を受けられる場の提供と、身近にかかりつけ歯科医を持ち気軽に相談できる環境をつくり、もって区民の健康増進を支援する。 ○高次歯科医療機関、専門歯科医療機関や医科診療機関との連携により、安全で適切な歯科治療の場を確保する。					
成果指標名(式)		(代) = 適当な指標がない場合の代替指標				(1) かかりつけ歯科医を持つ区民の割合 (2) (代)延べ診療件数の前年比					
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する19年度 の達成率%			
	活動指標(1)	件	3,469	3,600	3,332	3,600	4,000	83.3			
	活動指標(2)	件	78	100	66	100	100	66.0			
	成果指標(1)	%	66	67	63	65	70	90.0			
成果指標(2)	%	97	95	96	108	110	87.3				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	70,619	79,714	64,555	70,168	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円	70,215	78,776	64,148	69,891					
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.54	0.54	1.25	1.25					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,892	4,936	11,425	11,425				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	75,511	84,650	75,980	81,593					
	単位あたりコスト( - )÷	円	21,767	23,514	22,803	22,665					
	財源	受益者負担分	千円	20,221	20,911	20,211	21,039				
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	20,221	20,911	20,211	21,039					
差引: 一般財源 -		千円	55,290	63,739	55,769	60,554					
受益者負担比率 ÷	%	26.8	24.7	26.6	25.8						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	歯科保健医療センターの運営委託(「委託等」)		1	件	64,148						
	「障害のある方のためのかかりつけ歯科医マップ」作成		6,000	部	399						
	その他 (保険料 )				8						

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 386 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	92.6	活動指標(2)の 19年度達成率%	66.0	19年度予算 執行率%	81.0
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		紹介・逆紹介などの歯科医療連携、すなわち歯科保健医療センターの二次歯科医療機関機能の明確化は一段と進み、定期管理回数は減少した。地域の歯科医療機関からの紹介患者の積極的な受入れ、逆紹介システムの紹介、「障害のある方のためのかかりつけ歯科医マップ」の作成など広報等を積極的に行った。また歯科保健医療センター歯科医療連携室が主催して「歯科衛生士スキルアップ研修会」を開催し、地域の歯科衛生士との介護予防事業等への協働が推進できた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成13年度以降歯科保健医療センター開設時から現在まで知的障害者等の数に大きな変化はない。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	区北西部に位置するため、議会や歯科医師会などから、「施設移転」の要望がある。					
	今後の予測	地域歯科医療機関と歯科保健医療センターの機能分担と連携が進むことで、歯科保健医療センターでは難症例が増加していくものと思われる。また、介護予防分野などの新たに取り組む分野も拡大していくものと思われる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 「障害のある方のかかりつけ歯科医マップ」などによる地域の歯科医療機関の情報公開の進展、地域歯科医療機関と歯科保健医療センターとの連携の推進により障害者歯科保健状況の向上が期待できる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 組織権限等の見直し(具体的内容 )	理由または具体的内容: 歯科保健医療センターの経営体制や診療体制の見直すことで、向上することは期待できる。 理由または具体的内容: 新たな歯科保健医療センター機能を発揮するための組織体制の見直しを図る。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 診療費の自己負担を患者に求めている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 人員配置を検討することでコストの削減は可能。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 歯科保健医療センター運営は社団法人、東京都杉並区歯科医師会に委託している。事業の性格上、同歯科医師会との協働を継続する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 歯科保健医療センターの二次歯科医療機関としての機能を明確にすることで、診療効率が向上し、介護予防分野など新たな取り組みを開始することが出来たので今後も様々な改革を積極的に推進していく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 センタースタッフ・歯科医師会の理解と協力を得ながら、改革を推進する。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 体制の見直しは図るが、予算的には大きな増減は想定していない。

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		歯科保健医療センターの維持管理 <small>20年度予算コード</small>			007	整理番号	389	枝番号			
担当部課名	杉並保健所 地域保健課		コード	150305	昨年度 整理番号						
係名	救急医療係		連絡先 電話番号	3391-1355							
上位施策名		No	39	地域医療体制の整備							
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		13 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 (1) 杉並区立歯科保健医療センター条例 (2) 杉並区立歯科保健医療センター条例施行規則 (3) 杉並区立歯科保健医療センター運営要綱							
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 すべての区民		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 年間を通じて歯科保健医療センターの施設機能を維持する							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	歯科保健医療センターの建物及び医療機器等、施設機能を維持するための日常管理		活動指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 施設機能維持のための保守委託経費 (2) 施設機能維持のための建物及び医療機器等修繕費							
	活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 維持管理経費のうち修繕費の占める割合 (2)							
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%				
	活動指標(1)	千円	2,533	2,865	2,604	3,035	3,035	85.8			
	活動指標(2)	千円	573	430	310	430	430	72.1			
	成果指標(1)	%	9	8	6	8	8	77.2			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	6,235	5,501	5,021	5,347	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円	2,533	2,865	2,604	3,035					
	職員数 (常勤   非常勤)	人	0.10	0.10	0.63	0.63	20年度新規				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	906	914	5,758			5,758		
		非常勤職員分	千円	0	0	0			0		
	総事業費 + +	千円	7,141	6,415	10,779	11,105					
	単位あたりコスト( - )÷	円	2,819	2,239	4,139	3,659					
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	7,141	6,415	10,779	11,105					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	建物等管理委託料(「委託等」)		9	件	2,604						
	光熱水費				1,242						
	医療機器購入		4	件	450						
	一般需用費				366						
その他 (通信運搬費、医療機器賃借等)				359							

# 平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 389 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	90.9	活動指標(2)の 19年度達成率%	72.1	19年度予算 執行率%	91.3
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		(20年度新規)					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	歯科保健医療センターは平成13年度開始であるが、建物の築は昭和49年で、建物自体の老朽化、同建物の構造物の老朽化など年々問題が顕在化してきている。平成6年開始の杉の木歯科診療所時代から使用している機材も多く、古いものもあり、維持費が年々かさんでいる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区北西部に位置するため、議会、歯科医師会から「施設移転」の要望がある。					
	今後の予測	「施設移転」を視野に入れながら、歯科保健医療センターの事業改革を推進し、発展させる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 歯科保健医療センターは、一般の歯科診療所では受診困難な区民を対象とした施設であり、年間を通じてその機能を維持していくことを目的とした当事業は重要度が高い。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容: 建物及び医療機器の維持管理をより適切に行うことにより、これらの修繕費用を最小限に抑えることができる。 理由または具体的内容: 各種保守委託契約の仕様内容を適宜見直していくことと併せ、施設運営委託先団体である歯科医師会と維持管理について連絡を密にする。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 当事業は施設維持管理のための経費であり、受益者負担になじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 各種保守委託契約の仕様内容の見直しによっては、コストが下がる余地がある。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ )	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ )	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 建物管理等施設の維持管理は委託業者により適切に行われている。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 歯科保健医療センター建築物、及び機材等の老朽化による問題も年々顕在化しているが、区民の利便性の向上を図るための「施設移転」を実現することで、歯科保健医療センターの維持管理的な問題、機能的な問題ともに解決の方向へ進むと思う。しかし、設備移転の経費など一時的なものと思われるが大幅にコストは増加する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 「施設移転」先の選定など、調整が必要。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 「施設移転」については直近で実現する計画でもなく、歯科保健医療センターの維持管理については当面、その都度の老朽施設・機材の補修、修理などが想定され、増減なしと考える。	